

文化』(於 神戸改革派神学校)

講師 オリヴィエ・ミエ教授

通訳 林 伸一郎 講師

10月10日(金)共同研究会(於 千刈セミナーハウス)

開会礼拝 村川 満(社会学部教授、コンピューター)

紹介 「オリヴィエ・ミエ教授の人物と業績—学位論文『カルヴァンと言葉の力学』:改革派レトリックの研究」 森川 甫(社会学部教授) 望月ゆか(日本学術振興会特別研究員)

講演Ⅰ 「カルヴァン、クレマン・マロと『ユグノー詩編歌』」

講師 オリヴィエ・ミエ教授

通訳 和田光司 兼任講師

講演Ⅱ 「日本における詩編歌」 渡辺信夫牧師(東京告白教会)

共同討議・懇談 研究構成員、研究協力者が参加した。

10月12日(日)日本基督改革派板宿教会礼拝出席

10月13日(月)関空・大阪発

Ⅱ 経歴

オリヴィエ・マルク・ミエ Olivier Marc MILLET (通常、マルクを省略)は1955年1月3日、南フランス、エクス・アン・プロヴァンスで生まれた。1974年7月、高等教育機関の文科系最高のエリート校、エコール・ノルマル・シュペリユール Ecole Normale Supérieure に入学者55名中、5位というきわめて優れた成績で合格、1977年には高等教員資格試験(古典文学)に、75名中、5位というこれまた優秀な成績で合格した。20世紀後半、フランス語圏、最高のカルヴァン学者、リシャール・ストフェール教授(元フランス国立高等研究院宗教部門学長、1985年没)の指導を受け、1980年、第三期課程博士学位(大学助教授就職に必要な学位)請求論文『ユマニスト(人文学者)と宗教改革者の文通』を提出し、最優秀

の評価で、同博士の学位が授与された。1985年から1991年 ナンシー第2大学助教授(フランス中世、ルネサンス期の言語と文学を担当)、1990年12月 国家博士学位請求論文『カルヴァンと言葉の力学、改革派レトリックの研究』をバリ・ソルボンヌ大学に提出し、教授、研究者、その他、満堂の列席者のなかで、主査、ツベール教授をはじめ、審査員から絶賛され、最優秀の評価を受け、同博士の学位が授与された。翌1991年10月 アヴィニオン大学教授に就任し、次いで、1994年10月バリ第12大学(ヴァル・ド・マルヌ)教授に就任、1995年4月 バーゼル大学(スイス)教授に就任し、また、同時に、パリ第12大学の教授権も持っている。

1989年、フランス・プロテスタンティズム史最高の研究誌『フランス・プロテスタンティズム史協会誌』Bulletin de la Société de l'Histoire du Protestantisme français (1852年創刊、我が国でこの研究誌を創刊号から所蔵しているのは、本社会学部だけといわれる)同研究誌編集委員、フランス・プロテスタンティズム史協会運営委員、いずれも在任中である。

Ⅲ 業績表

- (1) 研究誌への寄稿論文は、「W. F. Capiton によるルター支持の、未刊の風刺攻撃文書」『宗教史・宗教哲学研究誌』(ストラスブール、1983年)のほか6編ある。
- (2) 学会発表などの論文は、「詩編を歌うこと、マロとカルヴァン」『クレマン・マロ』(カオール国際学会報告書、パリ、シャンピオン書店、1997年)のほか19編ある。
- (3) 著書は、『カルヴァンと言葉の力学、改革派レトリックの研究』(ジュネーヴ、スラトキン書店、1992年)のほか7冊ある。(以上、1996年までの業績。)

LISTE DES PUBLICATIONS

I—Articles de revues

- 1) “Un pamphlet proluthérien inédit de W. F. Capiton”, *Revue d'Histoire et de Philosophie religieuses* (Strasbourg), janvier-juin 1983 (1-2), pp. 181